

建築・住宅の将来像に関する社会・技術開発動向調査報告書

平成 15 年度版

平成 16 年 9 月 17 日

建築研究開発コンソーシアム

は し が き

建築研究開発コンソーシアムでは、今後の技術開発課題を設定するための調査を継続的に行うこととし、今年度から本格的に活動を開始した。

この報告書は平成 15 年 11 月に（社）建築研究振興協会より建築技術動向調査として受託したものを、研究開発推進委員会の下でプロジェクトを結成してとりまとめたもので、安全な住宅という側面から「防犯」と「高層居住」をとりあげ、また、建築分野のニーズ・シーズに基づく技術調査では、今後が開発が期待されている技術を政府、協会、学会などからだされている予測資料をもとに、約 500 件を抽出しデータベース化を図りつつある。

「防犯」は現在最も注目を集めている分野で、住宅の防犯設計に関する考え方をまとめるとともに、防犯機器メーカーへの個別ヒアリング、ワークショップなどを開催し、そこでの検討結果をもとに今後の開発の方向性を示す「知的サポート型安心住宅」にとりまとめた。

また、「高層居住」は住居と心の関係をとりあげ、医学、心理学等の専門家とのワークショップや作り手を含むパネルディスカッションなどを開催し、そこで得られた知見をまとめるとともに「ストレス解消型愛着住宅」と「みんなでつくる快適マンションライフ」として、今後検討すべき課題として展開した。

なお、本報告書は（社）建築研究振興協会への報告書とは別に建築研究開発コンソーシアム会員用にとりまとめたもので、この成果は、安全な居住環境を企画、設計するための必要な情報として、また、今後の研究開発のテーマ設定にも役立てていただくことを期待している。

最後に、本調査をすすめるにあたりご協力いただいた会員各位に厚くお礼もうしあげます。

平成 16 年 9 月 17 日

建築研究開発コンソーシアム

研究開発推進委員会 委員長 坊垣 和明
技術開発動向調査プロジェクト 主査 寺沢 一郎

建築・住宅の将来像に関する社会・技術開発動向調査報告書

平成 15 年度版

目 次

1. プロジェクトの概要.....	1
1.1 目的.....	1
1.2 調査方法.....	1
2. 最新の技術動向.....	3
2.1 注目すべき技術動向.....	4
2.2 カテゴリー別技術動向.....	4
2.3 検討すべき技術分野.....	5
3. 住宅の安全に関する「防犯技術」.....	7
3.1 犯罪傾向と防犯設計.....	7
3.2 防犯技術の現状.....	28
3.3 実例から見た防犯コミュニティおよび防犯システム.....	42
3.4 防犯技術ワークショップ.....	47
3.5 防犯技術の今後の展開.....	55
4. 住宅の安全に関する「環境心理」.....	57
4.1 集合住宅の建設状況と居住者の実態.....	57
4.2 高層居住の環境心理.....	69
4.2.1 第1回環境心理ワークショップ.....	71
4.2.2 第2回環境心理ワークショップ.....	74
4.2.3 第3回環境心理ワークショップ.....	78
4.2.4 環境心理パネルディスカッション.....	83
4.3 高層居住の今後の展開.....	96
付録 建築分野のニーズ・シーズに基づく技術調査.....	99